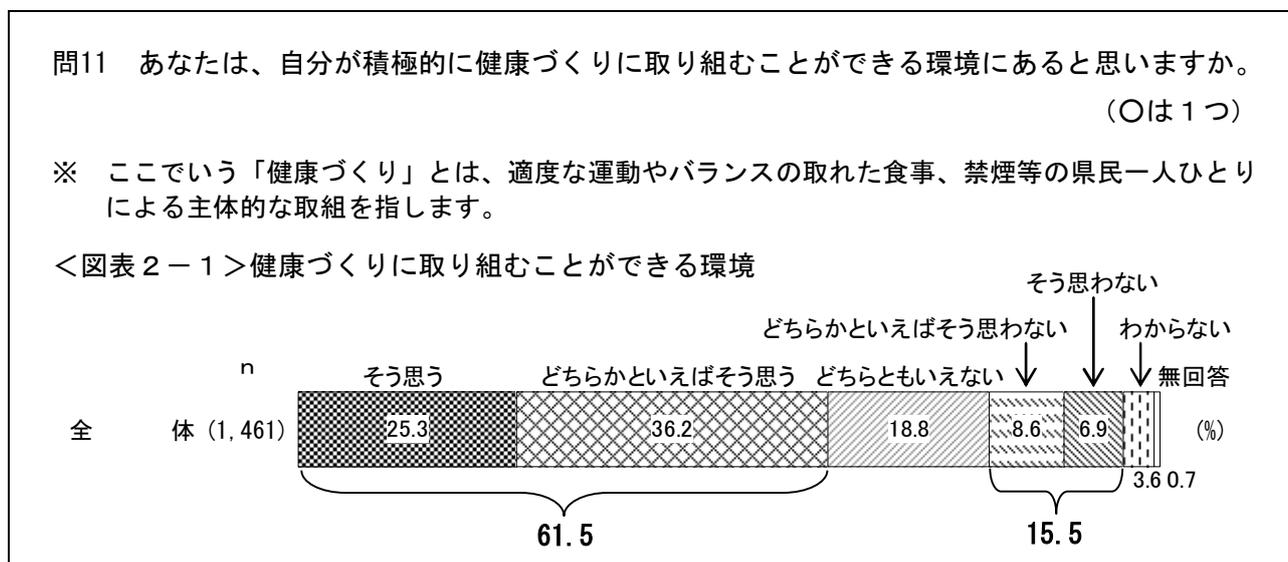


2 健康について

（1）健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う（計）』が6割を超える



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(25.3%)と「どちらかといえばそう思う」(36.2%)を合わせた『そう思う(計)』(61.5%)が6割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.6%)と「そう思わない」(6.9%)を合わせた『そう思わない(計)』(15.5%)が1割台半ばとなっている。(図表2-1)

〔参考〕平成29年度・平成30年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	そう思う(計)	そう思わない(計)	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成29年度調査(1,456)	50.9	19.7	29.4
平成30年度調査(1,334)	57.9	17.9	24.1
令和元年度調査(1,461)	61.5	15.5	23.1

(※)平成30年度調査から、「健康づくり」の説明を設問に追加した。

【地域別】

地域別にみると、『そう思う(計)』は“千葉地域”(67.7%)が約7割で高くなっている。

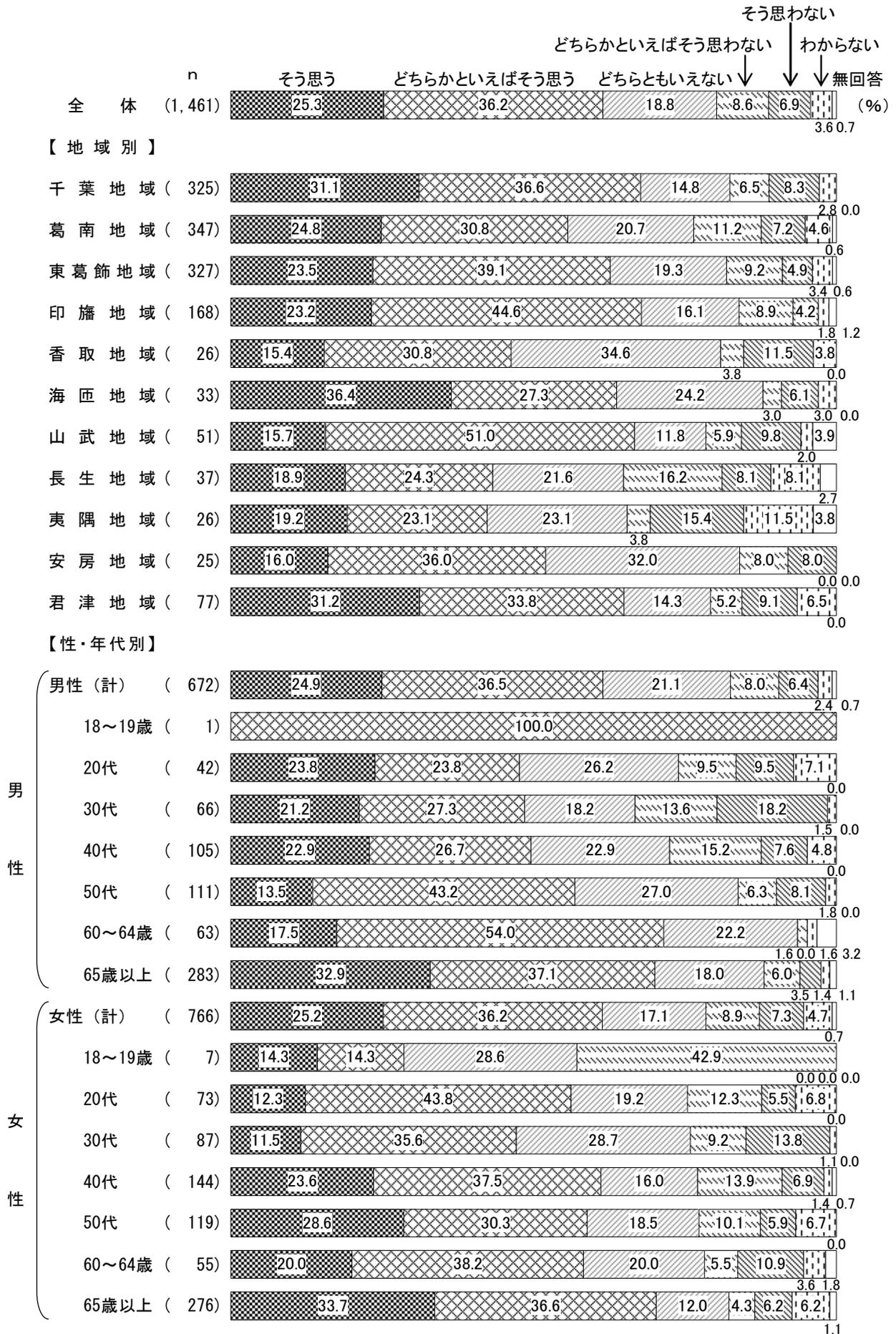
(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う(計)』は男性の65歳以上(70.0%)と女性の65歳以上(70.3%)が7割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は男性の30代(31.8%)が3割を超え、男性の40代(22.9%)が2割を超えて高くなっている。(図表2-2)

<図表2-2>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



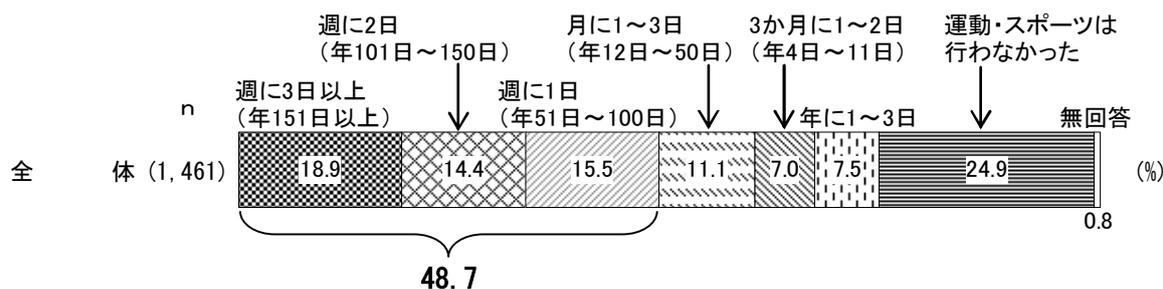
（2）健康づくりのための運動

◇『週1日以上運動した（計）』が約5割

問12 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
（○は1つ）

※ ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。

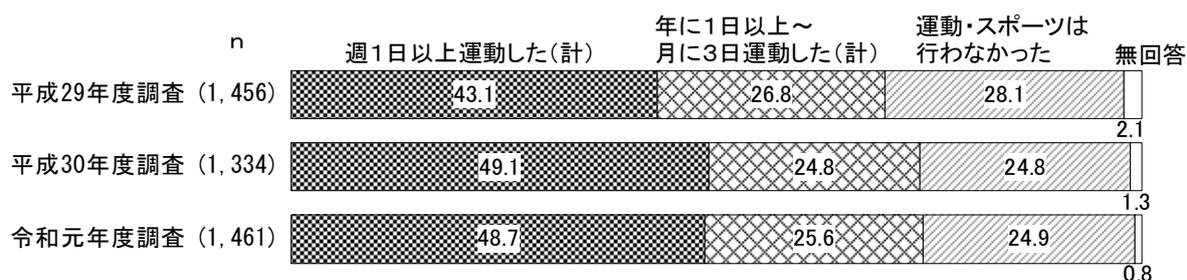
<図表2-3>健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったか聞いたところ、「週に3日以上（年151日以上）」（18.9%）、「週に2日（年101日～150日）」（14.4%）、「週に1日（年51日～100日）」（15.5%）の3つを合わせた『週1日以上運動した（計）』（48.7%）が約5割となっている。

一方、「運動・スポーツは行わなかった」（24.9%）が2割台半ばとなっている。（図表2-3）

〔参考〕平成29年度・平成30年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

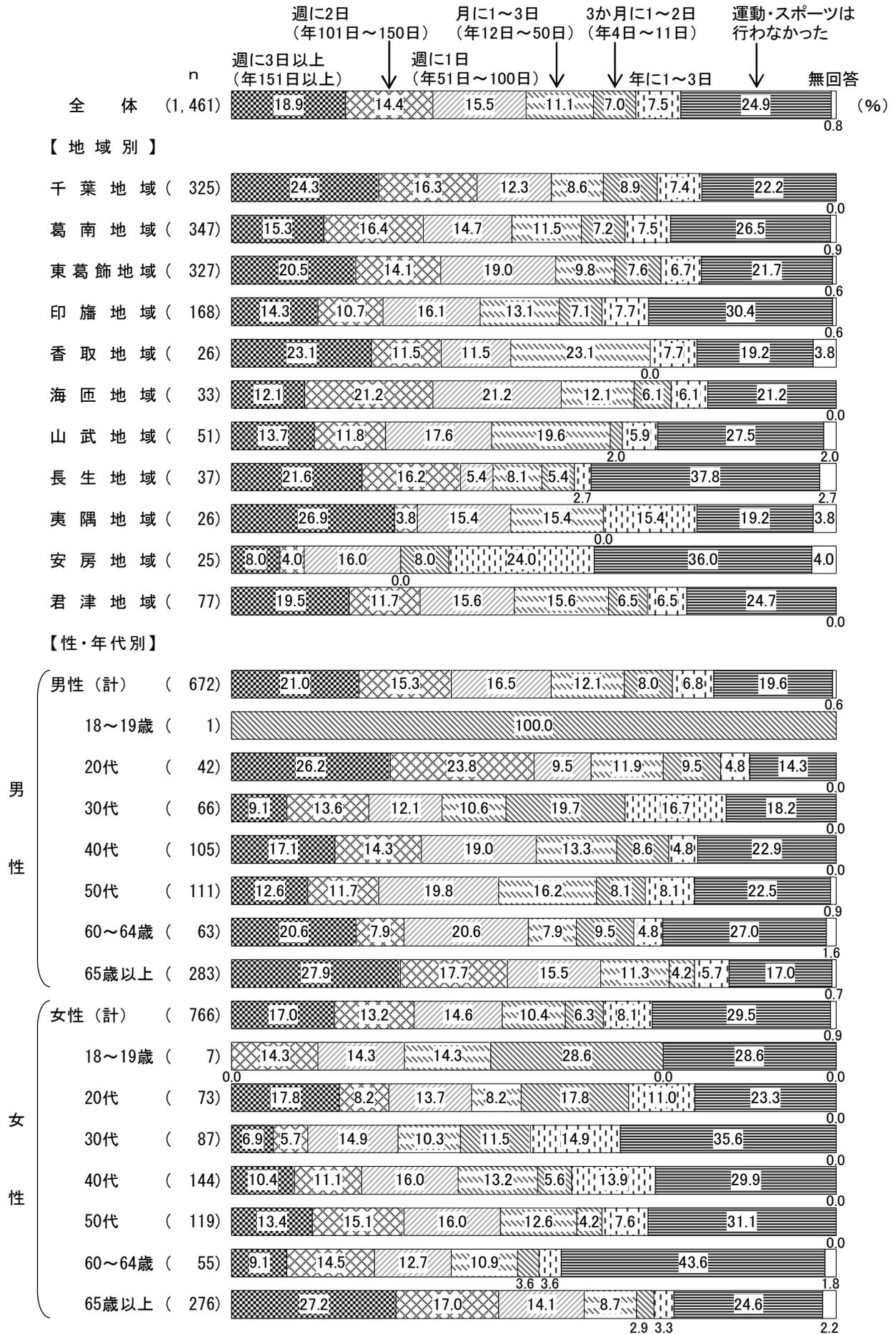
地域別にみると、「週に3日以上（年151日以上）」は“千葉地域”（24.3%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1日以上運動した（計）』は男性の65歳以上（61.1%）が6割を超え、女性の65歳以上（58.3%）が約6割で高くなっている。

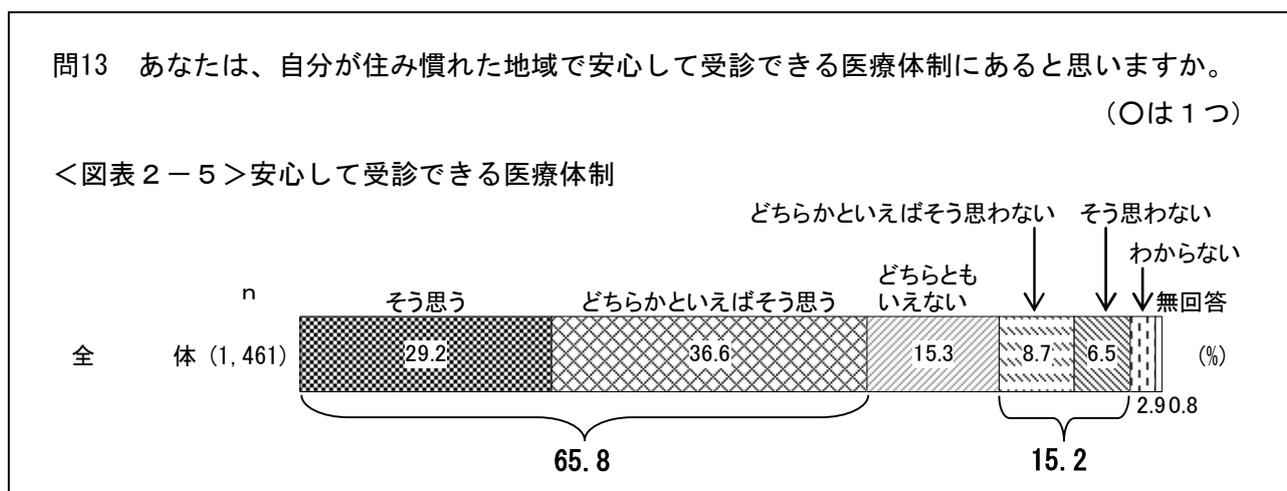
一方、「運動・スポーツは行わなかった」は女性の60～64歳（43.6%）が4割台半ば、女性の30代（35.6%）が3割台半ばで高くなっている。（図表2-4）

<図表2-4>健康づくりのための運動／地域別、性・年代別



（3）安心して受診できる医療体制

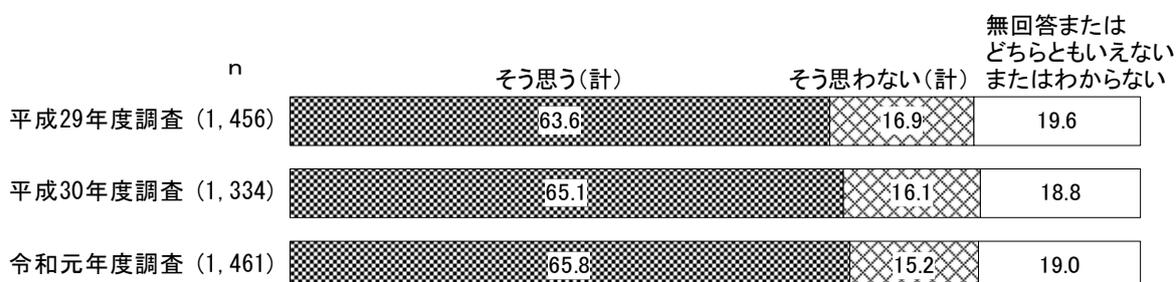
◇『そう思う（計）』が6割台半ば



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（29.2%）と「どちらかといえばそう思う」（36.6%）を合わせた『そう思う（計）』（65.8%）が6割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（8.7%）と「そう思わない」（6.5%）を合わせた『そう思わない（計）』（15.2%）が1割台半ばとなっている。（図表2-5）

〔参考〕平成29年度・平成30年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計）』は“千葉地域”（73.8%）が7割台半ば、“葛南地域”（71.2%）が7割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“長生地域”（48.6%）が約5割、“香取地域”（46.2%）が4割台半ば、“山武地域”（35.3%）が3割台半ばで高くなっている。（図表2-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の65歳以上（74.6%）が7割台半ば、女性の65歳以上（72.5%）が7割を超えて高くなっている。（図表2-6）

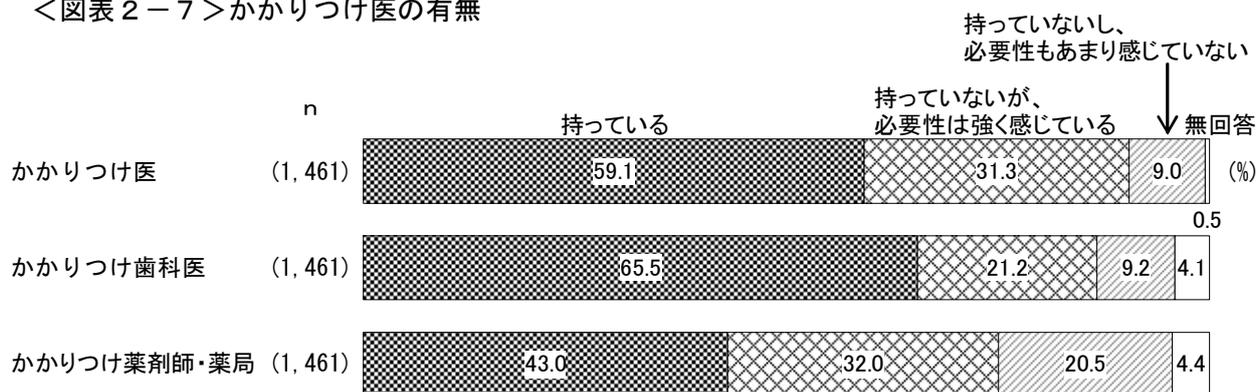
（４）かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割台半ば、かかりつけ医を持っているが約6割

問14 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なきには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師、歯科医師、薬剤師・薬局を「かかりつけ医、歯科医、薬剤師・薬局」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医」等をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

＜図表 2-7＞かかりつけ医の有無



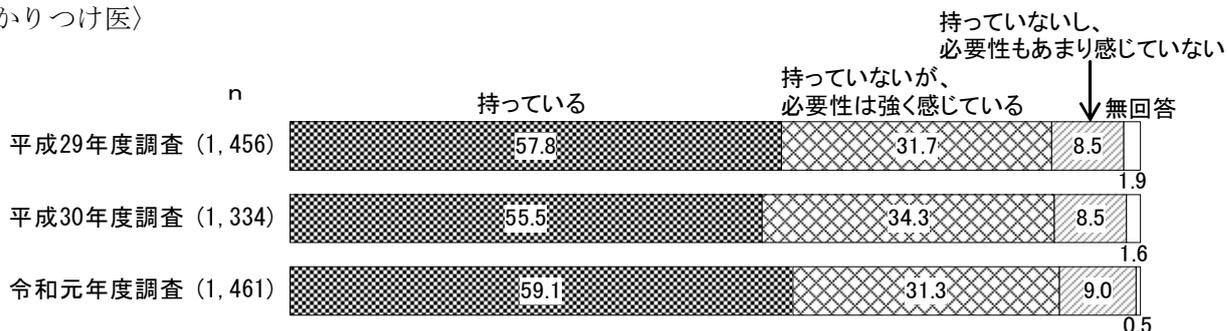
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（65.5%）が6割台半ば、〈かかりつけ医〉（59.1%）が約6割、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（43.0%）が4割を超えている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（32.0%）と〈かかりつけ医〉（31.3%）が3割を超えている。

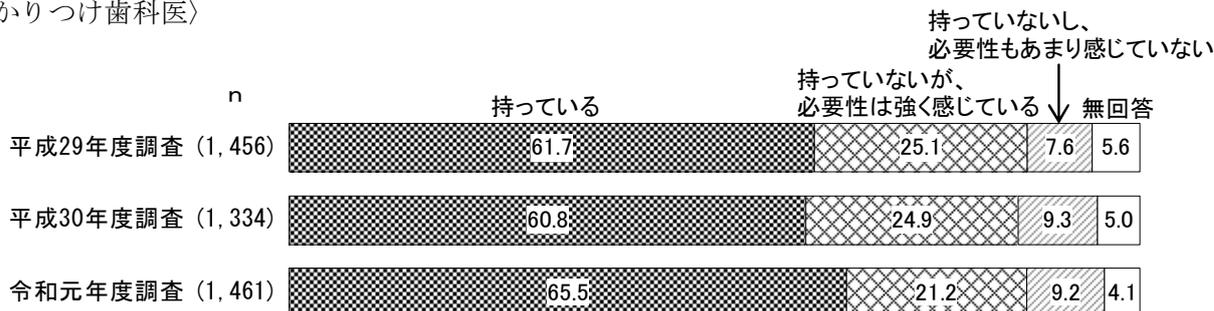
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（20.5%）が2割となっている。（図表 2-7）

【参考】平成29年度・平成30年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

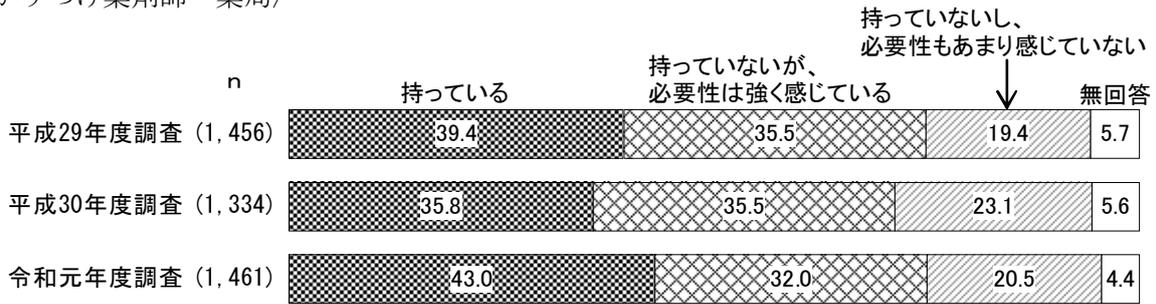
〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“夷隅地域”（80.8%）が8割、“君津地域”（70.1%）が7割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は“葛南地域”（36.3%）が3割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は“海匝地域”（90.9%）が9割で高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は“印旛地域”（51.8%）が5割を超えて高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は“東葛飾地域”（25.4%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2－8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は女性の65歳以上（82.2%）が8割を超え、男性の65歳以上（75.6%）と女性の60～64歳（76.4%）が7割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代（56.3%）が5割台半ば、男性の40代（47.6%）が約5割、男性の30代（45.5%）が4割台半ばで高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（23.8%）、男性の30代（24.2%）が2割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は女性の65歳以上（77.2%）が約8割、男性の65歳以上（72.8%）が7割を超えて高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の40代（36.2%）が3割台半ばで高くなっている。

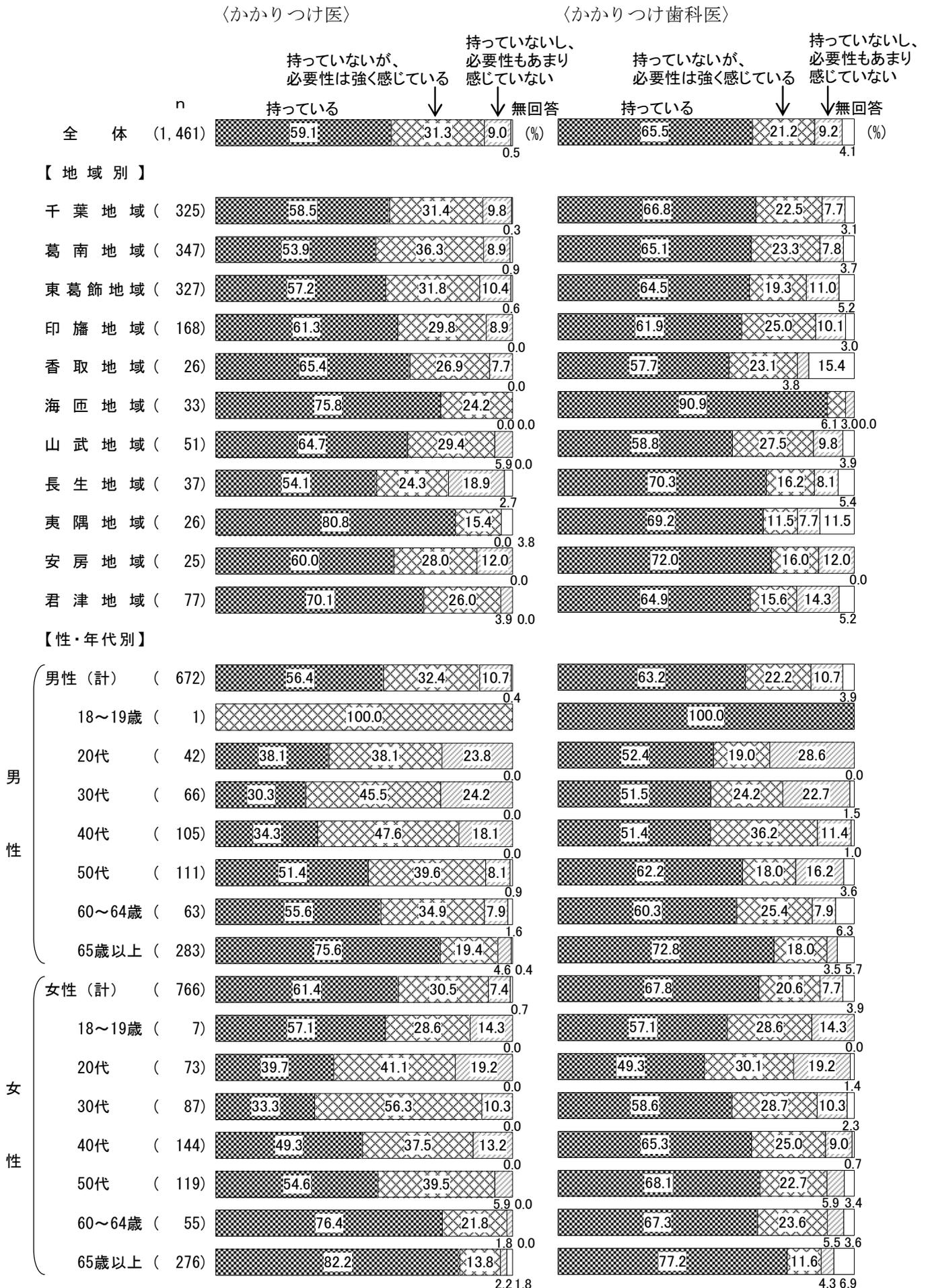
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（28.6%）が約3割、男性の30代（22.7%）が2割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は女性の65歳以上（67.4%）が約7割、女性の60～64歳（58.2%）が約6割、男性の65歳以上（55.8%）が5割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代（48.3%）が約5割、男性の60～64歳（46.0%）と女性の20代（43.8%）が4割台半ばで高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（47.6%）が約5割、男性の30代（31.8%）、男性の50代（31.5%）と女性の40代（31.3%）が3割を超え、男性の40代（30.5%）と女性の20代（30.1%）が3割で高くなっている。（図表2－8）

<図表2-8> かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉

